

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（学科）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	90
授業概要、目的、授業の進め方	レストランサービス技能検定3級学科試験合格を目指し、座学を中心にしながらテキストを進めていく (受験資格に受講することが必須)				
学習目標 (到達目標)	レストランサービス技能検定3級学科試験合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	西洋料理 料飲接客サービス技法 プリント、確認テスト				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1～3	第1章 食材・飲料等の基礎知識	第1節	食品		
4、5	第1章 食材・飲料等の基礎知識	第1節	食品		
6～8	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第2節	西洋料理に使用される主な食材			
9、10	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第2節	西洋料理に使用される主な食材			
11～13	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第3節	一般的な西洋料理調理法、第4節 飲料の種類および特徴			
14、15	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第4節	飲料の種類および特徴、第5節 メニュー			
16～18	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第6節	西洋料理の食事用具・備品			
19、20	確認テスト				
21～23	第2章 接客の基本	第1節～第4節			
24、25	確認テスト				
26～28	第3章 宴会とレストランサービス 第1節	宴会、第2節 レストラン			
29、30	第3章 宴会とレストラン 第3節	客席案内～第8節 メニュー管理			
31～33	第3章 宴会とレストランサービス 第9節	料理、食器等の異常～第12節 食事の国際習慣			
34、35	確認テスト				
36～38	第4章 食文化				
39、40	第5章 施設管理				
41～43	第6章 苦情対応と遺失物の取り扱い				
44、45	確認テスト				
46～48	第7章 食品衛生および公衆衛生 第1節	食品衛生			

49、50	第7章 食品衛生および公衆衛生 第2節 公衆衛生～第3節 食品衛生法	
51～53	確認テスト、第8章 安全衛生 第1節 労働災害	
54、55	第8章 安全衛生 第2節 危険有害性	
56～58	第8章 安全衛生 第3節 労働安全衛生に関する法令	
59、60	全体振り返り解説	
61～63	確認テスト	
64～69	特別講習 問題演習	
70～75	特別講習 問題演習	
76～81	特別講習 問題演習	
82～87	特別講習 問題演習	
88～90	丸付け、振り返り	
<b>評価方法・成績評価基準</b>		<b>履修上の注意</b>
<p>確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>食に関わる知識全般を学びます。わからない、難しい用語などは自身で調べ、頭の中に映像が浮かぶように準備をしてください。そうすることで食に関わる様々な事柄に興味を沸き、検定のためだけでなく自身の仕事に直結した知識を覚えたいと感じるはずです。それが、お客様への食の安全にもつながります。</p>
<b>実務経験教員の経歴</b>		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（実技）				
担当教員	渡邊 恵		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	55（前20、後35）
授業概要、目的、授業の進め方	レストランサービス技能検定3級実技試験合格を目指し、実技を中心にしながら進めていく（受験資格に受講することが必須）				
学習目標（到達目標）	レストランサービス技能検定3級実技試験合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	日本ホテル・レストランサービス技能協会からの3級実技課題プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	動機付け、前年の実技試験課題デモンストレーションと説明				
3、4	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
5、6	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
7、8	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
9、10	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
11、12	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
13、14	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
15、16	演習 全体		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
17、18	実技確認テスト①				
19、20	実技確認テスト②				
21、22	実技試験課題デモンストレーションと説明				
23、24	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
25、26	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
27、28	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
29、30	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
31、32	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
33、34	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
35、36	演習 全体（みだしなみチェック①）		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
37、38	演習 全体		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		

39、40	演習 全体	制限時間に近づけるようタイムも気にする
41、42	演習 全体 (みだしなみチェック②)	制限時間に近づけるようタイムも気にする
43、44	演習 全体	タイムを縮める
45、46	演習 全体	タイムを縮める
47、48	演習 全体 (みだしなみチェック③)	タイムを安定させる
49、50	演習 全体	タイムを安定させる
51、52	苦手パート克服	
53、54	反復練習	
55	振り返り	
<b>評価方法・成績評価基準</b>		<b>履修上の注意</b>
<p>定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>実技試験当日に緊張して制限時間をオーバーすることのないように何度も反復練習を行います。学校内の練習を日々、緊張感を保ち行うことが重要です。また、試験当日の想像をして、備品の違いや会場の違いに戸惑わないようにしていきます。</p>
<b>実務経験教員の経歴</b>		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		英会話			
担当教員	藤田 愛子		実務授業の有無	×	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	<p>1. 外国人と話すことになれる。英会話の楽しさをしり、表現を多く身につける。自己紹介ができ、各単元の表現ができる。</p> <p>2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な文法や合格に必要なテクニックを集中的に学ぶ。</p> <p>3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。</p>				
学習目標 (到達目標)	検定合格と英会話の向上				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th(student book) リスニングCD				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	簡単な自己紹介フレーズを板書し、自分の自己紹介を英作文する。連語の発音方法や数字、電話やEメールの表現を学び、英作文できる。				
3~6	Unit 1の基本文法をピックアップし、基本文型と人称代名詞による書き換えができる。最後まで解き、一連の流れや表現方法を理解できる。				
7~13	Unit 2 1~4を行い、必要な文法・単語・発音を学ぶ。				
14 15	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。				
16	インターンシップでの接客場面で用いられる英語表現を学び、発音する。ペアワークををし、ロールプレイで発音を確認する。				
17 18	前期の復習を行う				
19~21	Unit 3 How much is it?の表現に対するの答え方を理解し、使い分けて表現できる。質問、答える側のどちらになっても使い分けができる。		確認テストあり		
22~24	Unit 4 I really like Hip-Hop.の表現に対するの答え方を理解し、使い分けて表現できる。		混乱しがちなので、日本語和訳をしっかりと理解したうえで進める		
25~27	Unit 5 I come from a big family.の表現に対するの答え方を理解し、使い分けて表現できる。		混乱しがちなので、日本語和訳をしっかりと理解したうえで進める		
28 29	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。		単語テストあり		
30~33	Unit 6 How often do you exercise? の表現に対するの答え方を理解し、使い分けて表現できる。				
34~36	Unit 7 We had a great time! の表現に対するの答え方を理解し、使い分けて表現できる。				
37~39	Unit8 What's your neighborhood like? の表現に対するの答え方を理解し、質問、答える側のどちらになっても使い分けができる。		単語テストあり		

40~42	Unit9 What does she look like?の表現に対する答え方を理解し、使い分けて表現できる。	混乱しがちなので、日本語和訳をしっかりと理解したうえで進める
43 44	【期末テスト】 今までの学習内容を出題（リスニング含む）し、60%以上の得点がとれる。	
45	振り返り・まとめ	本番の試験終了後にまるつけと2次対策
<b>評価方法・成績評価基準</b>		<b>履修上の注意</b>
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		中学英語までは理解できている。ホテルやブライダルシーンで使うフレーズや単語につなげて授業を展開する。
<b>実務経験教員の経歴</b>		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり

②

## 国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEIC (Reading)				
担当教員	藤田先生		実務授業の有無	×	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	50
授業概要、目的、授業の進め方	<p>復習を兼ねながら発展的な問題や表現に取り組む。TOEICの発展問題を解きながら、500点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。</p> <p>1、Part5で得点をあげるために、単語ごとに品詞の理解をする。</p> <p>2、良く出題される単語や熟語の暗記や実際に自分で英文を読み上げる</p>				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、500点をを目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 500点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1~20	Part5 詞など	問題形式を把握しよう 時制 自動詞・他動詞 分		問題集の問題を中心に解いて、解説する P95~	
21~30	Part6 変化	特に出やすい文法項目をおさえよう 動詞の語形		問題集の問題を中心に解いて、解説する P163~	
31~38	Part7	解答の手順を理解し、テクニックを知る		問題集の問題を中心に解いて、解説する P177~	
39~50		過去問題		過去問題にチャレンジ	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
<p>Reading定期試験80%、学習意欲20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>				<p>TOEICの基本は各自復習をさせるべきで、時間をかけないように進める。発展的な問題を解くためのテクニックや弱点を改善させるために時間を取るようにする。</p>	
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	TOEIC (Listening)				
担当教員	藤田先生		実務授業の有無	×	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	50
授業概要、目的、授業の進め方	<p>復習を兼ねながら発展的な問題や表現に取り組む。TOEICの発展問題を解きながら、500点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。</p> <p>1、スピードになれる。リンキングを耳にならす。</p> <p>2、良く出題される単語や熟語の暗記や実際に自分で英文を読み上げる</p>				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、500点をを目指す。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 500点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～8	Part1 写真描写問題 問題形式を把握する		CDを使いながら問題を解き、解説する P4 5～		
9～16	Part2 First Speakerの発音のタイプを知ろう		CDを使いながら問題を解き、解説する P5 7～		
17～22	Part3 会話問題		CDを使いながら問題を解き、解説する P6 9～		
23～28	Part4 説明文問題		CDを使いながら問題を解き、解説する P8 1～		
29～50	過去問題		過去問題にチャレンジ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>Listening定期試験80%、学習意欲20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>TOEICの基本は各自復習をさせるべきで、時間をかけないように進める。発展的な問題を解くためのテクニックや弱点を改善させるために時間を取るようにする。</p>		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				



②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ブライダル総論Ⅱ											
担当教員		武田 奈々		実務授業の有無		○							
対象学科		ホテル・ブライダル科	対象学年		2	開講時期		通年					
必修・選択		選択		単位数		時間数		70					
授業概要、目的、授業の進め方		1、ブライダル・コーディネーター技能検定について理解する 2、日本と欧米の結婚式について歴史と文化を理解する 3、ブライダルビジネスについて理解する 4、ブライダルの基礎的知識について理解する											
学習目標 (到達目標)		検定出題傾向について理解し、暗記する。知識だけではなく、職業観を意識させていく。											
テキスト・教材・参考図書・その他資料		ブライダル・コーディネーターテキストスタンダード		ブライダル用語辞典									
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考									
1. 2	・ブライダル・コーディネーター検定を理解する ・Lesson1第1章結婚の定義（重要ポイントのライン引きと理解）			教科書のライン引きと解説									
3. 4	・Lesson1第2章 日本の結婚式：歴史と文化（重要ポイントのライン引きと理解）			↓									
5. 6	・Lesson1第3章 欧米の結婚式：歴史と文化（重要ポイントのライン引きと理解）												
7. 8	Lesson2 ブライダルビジネス（第一章～第六章）												
9. 10	Lesson3 ブライダルの基礎 第一章 （重要ポイントのライン引きと理解）												
11. 12	Lesson3 ブライダルの基礎 第二章 （重要ポイントのライン引きと理解）												
13. 14	Lesson3 ブライダルの基礎 第三・四章 （重要ポイントのライン引きと理解）												
15. 16	Lesson3 ブライダルの基礎 第五・六・七章 （重要ポイントのライン引きと理解）												
17. 18	Lesson3 ブライダルの基礎 第八・九・十・十一章 （重要ポイントのライン引きと理解）												
19. 20	前期テスト実施								テスト				
21~24	lesson4解説と過去問題実施								教科書のライン引きと解説				
25~28	lesson5解説と過去問題実施			↓									
29~32	lesson6解説と過去問題実施												
33~36	lesson6解説と過去問題実施												
37~40	lesson7/8解説と過去問題実施												
41~44	過去問題実施と解答解説			テスト実施									
45~48	過去問題実施と解答解説												
49~52	過去問題実施と解答解説												
53~56	過去問題実施と解答解説												

57~60	実技試験対策	
61~70	練習問題実施	↓
評価方法・成績評価基準		履修上の注意
<p>出席率50%、授業態度10%、学科テスト40%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>		<p>重要ポイントのライン引きをしっかりと学習して暗記すること。検定の出題傾向について理解すること。</p>
実務経験教員の経歴		バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる

②

## 国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		旅行地理			
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	なし		
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	55 (前20、後35)
授業概要、目的、授業の進め方	前期は日本。後期は海外に目を向けて調査、共有を行っていく。前期・後期の終わりに旅行プランの発表を行い、理解度と興味度、プレゼンテーション能力を見ていく。 将来、ホテルスタッフになったときに、その知識がお客様へ還元できるように勤めていく。				
学習目標 (到達目標)	国内外の国々の地理を理解し、その国の文化や観光地などについて知り、ホテルにお越しになった外国人のお客様との会話に活かす、				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、旅行会社のパンフレット				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1、2	日本の地理関係を学ぶ 日本の面積、人口、気候、治安と他国との比較	配布資料			
3、4	日本の観光地を研究する（観光地、料理、名産品など）	各自、各地方に分かれて調査を行う			
5、6	日本の観光地を研究する（観光地、料理、名産品など）				
7、8	グループ内発表⇒共有				
9、10	日本の観光地を研究する（観光地、料理、名産品など）				
11、12	日本の観光地を研究する（観光地、料理、名産品など）				
13、14	グループ内発表⇒共有				
15、16	旅行プラン作成	PPIにて作成			
17、18	旅行プラン作成				
19、20	発表、振り返り				
21、22	世界の国々の地理関係を学ぶ	配布資料			
23、24	ヨーロッパ各国、日本との比較（面積、人口、時差、気候、治安など）				
25、26	旅行会社のヨーロッパパンフレットを研究する	旅行会社のヨーロッパパンフレット			
27、28	ヨーロッパのホテルタイプを知る（アメリカン、ヨーロッパアン）				
29、30	各国を研究する （イギリスの観光ポイント、スポット、料理等）				
31、32	各国を研究する （ドイツの観光ポイント、スポット、料理等）				
33、34	各国を研究する （フランスの観光ポイント、スポット、料理等）				
35、36	各国を研究する （スイスの観光ポイント、スポット、料理等）				
37、38	各国を研究する （オーストリアの観光ポイント、スポット、料理等）				

39、40	各国を研究する (イタリアの観光ポイント、スポット、料理等)	
41、42	各国を研究する (スペインの観光ポイント、スポット、料理等)	
43、44	各自のコース選定、コース作成	
45、46	旅行プラン作成	PPIにて作成
47、48	旅行プラン作成	
49、50	旅行プラン作成	
51、52	発表	
53～55	振り返り	
<b>評価方法・成績評価基準</b>		<b>履修上の注意</b>
<p>定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>日本の魅力はもちろん、海外の魅力を学び、世界は様々な方々がいて、その魅力が何なのかを知ってください。そうすることで、世界の広さや日本の重要性を理解できるはずです。それを、接客に活かしてください。</p>
<b>実務経験教員の経歴</b>		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった

②

## 国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		中国語会話			
担当教員	村瀬 孝	実務授業の有無	なし		
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	訪日外国人が増えている現在、その中でも中国からのお客様が多いという現状を理解し、挨拶や簡単な接客ができるように中国語を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	ホテルの接客で使うフレーズのうち、簡単なものを10程度覚える。 聞いて判断できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	中国語はじめての一步				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1、2	動機付け、中国語の特徴、四声、単母音、子音について理解する	P6、7			
3、4	子音練習、複合母音について理解する	P9、10			
5、6	～n、～ngを伴う母音について理解する				
7、8	数字を覚える	P12			
9、10	名前の発音 接待用語と会話ができるようになる				
11、12	接客フレーズを覚える				
13、14	指示代名詞、疑問文について理解する				
15	確認テスト(口述テスト)				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
<p>確認テスト50%、出席率30%、学習意欲(授業態度)20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>インターンシップで中国のお客様がいらしていたことを思い出し、その方々に中国語で挨拶をしたり、基本的な接客ができれば喜んでいただけるだろうという意識を常に持ち、授業に取り組んでください。実際に言葉に出してみながら学ぶことが重要です。</p>			
実務経験教員の経歴	ホテルの現場で9年間、携わった。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		宿泊実務Ⅱ			
担当教員		村瀬 孝		実務授業の有無	○
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	50
授業概要、目的、授業の進め方	1. 1年次で学んだフロント・サービスの基礎知識の復習とフロント・オフィスの業務内容を理解する。				
学習目標 (到達目標)	1. 宿泊関連業務を理解し、実践的な実務を可能にする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 宿泊Ⅰ&Ⅱ フロント・サービス編、フロント・オフィス編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1~5	フロント・サービスの仕事（ドアマン、ベルマンの仕事内容）		フロント・サービス編、教科書P2~36		
6.7	フロント・オフィスとは		フロント・オフィス編、教科書P2~10		
8.9	リザーベーション業務		フロント・オフィス編、教科書P14~25		
10.11	リザーベーション業務		フロント・オフィス編、教科書P25~30		
12.13	レセプション業務		フロント・オフィス編、教科書P31~34		
14.15	レセプション業務		フロント・オフィス編、教科書P31~34		
16~19	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）		各グループに分かれてホテルにて研修		
20~26	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）		↓		
27~33	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）				
34~40	フロント研修（ホテルイタリア軒にて実践研修）				
41	前期テストを実施				
42.43	レセプション業務実践		フロント・オフィス編、教科書P62~72		
44.45	フロントキャッシャー業務		フロント・オフィス編、教科書P72~79		
46.47	フロントキャッシャー業務		フロント・オフィス編、教科書P80~89		
48.49	インフォメーション業務		フロント・オフィス編、教科書P91~98		
50	後期テスト実施		テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験50%、レポート20%			ホテルイタリア軒でのフロント研修を受け、フロント業務、ハウスキーピング、営業企画の業務内容を理解する。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					

実務経験教員の経歴

ホテルの現場で9年間、携わった。

②

## 国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	国際文化理解				
担当教員	村瀬 孝	実務授業の有無	なし		
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	インバウンドでいらっしゃる方が増えている現在、その中心の現場で働くホテルスタッフがその政策の成り立ちや各国の行事や国民性、宗教などについて学ぶことは大変重要だと考える。それを座学を中心に学んでいく。				
学習目標 (到達目標)	日本と海外諸国との関係性。日本政府の海外政策などを学ぶ。また、海外の宗教や国民性、行事などの理解を深める。宗教的な食事の禁忌なども学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、PPプレゼン				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1、2	インバウンドの概況について学ぶ				
3、4	日本の政策とこの先の状況、目標について学ぶ				
5、6	各国のデータ、目的の詳細を学ぶ				
7、8	宗教の基本的な知識や禁忌などについて学ぶ				
9、10	インバウンドのホテル受け入れ、海外での働き方について学ぶ				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
<p>確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>海外に関して関心を持ち、各国からいらっしゃるお客様のことを理解すること。そして、喜んでいただくためにはどのようなことに注意が必要かを学び、接客に活かしてほしいとかがえています。</p>			
実務経験教員の経歴	ホテルの現場で9年間、携わった。				



②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		ホテル英会話			
担当教員	村瀬 孝	実務授業の有無	なし		
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1. 外国人と話すことに慣れる。英会話の楽しさを知り、表現を多く身につける。				
学習目標 (到達目標)	1. 接客業界への就職が主なので、外国人への接客用語や日常会話が理解できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	Interchange 4th				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	簡単な自己紹介を英作文を作る。	テキストに沿って進める			
3.4	必要な文法・単語・発音を学ぶ。				
5.6	連音の発音方法や数字、電話やEメールの表現を学ぶ。				
7.8	基本文型と人称代名詞に書き換えを学ぶ。				
9.10	ペアワークで発音練習を行う。				
11.12	リスニングで聞き取ることができ、書ける。				
13.14	必要な文法・単語・発音を学ぶ。				
15.16	前期試験	テスト実施			
17.18	5 W2Hの表現復習	テキストに沿って進める			
19.2	基本文、疑問文、否定文を学ぶ。				
21.22	前置詞の理解と前置詞を使つての表現ができる。				
23.24	前置詞+ing の表現を学ぶ。				
25.26	主語の違いによる正しい文を作ることができる。				
27.28	期末テスト対策				
29.30	期末テスト	テスト実施			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
授業態度40% 試験60%					
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。			
実務経験教員の経歴	ホテルの現場で9年間、携わった。				

②

## 国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテルマネジメント				
担当教員	村瀬 孝		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ブライダル科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30
授業概要、目的、授業の進め方	1. ホテル業界の現況・時事を把握するとともに、ビジネスとしてのホテルを理解する。				
学習目標 (到達目標)	1. ホテル業界・宿泊産業の動向・時事を事例研究の中で把握・理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	適宜、レジュメ資料を配布				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1. 2	ガイダンス(ホテル業界動向)		レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
3. 4	ホテルリサーチ・事例研究(シティホテル・チェーンホテル)				
5. 6	ホテルリサーチ・事例研究(リゾートホテル・旅館)				
7. 8	ホテルリサーチ・事例研究(宿泊特化型・ホステル)				
9. 1	ホテルにおけるマネジメントとは(人・もの・カネ・情報の管理)				
11. 12	計数管理の理解(売上、分析)				
13. 14	計数管理の理解(原価計算、コントロール)				
15. 16	計数管理の理解(人件費のコントロール、その他のコスト、P/Lの理解)				
17. 18	人におけるマネジメントの理解(人事・労務関連)				
19. 20	前期課題/まとめ				
21. 22	ホテルマーケティング概論				
23. 24	演習(ホテル開業計画) 市場分析、コンセプトメイキング、施設概要				
25. 26	演習(ホテル開業計画) 商品企画、価格設定				
27. 28	演習(ホテル開業計画) 収支計画、オペレーションP/L作成				
29. 30	振り返り・後期まとめ/業界動向/キャリアプランニング				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率40% 授業態度10% 課題50%			ホテルでの就業において近い将来的に必要となるマネジメントについて、その考え方、手法を学び理解していく。		
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					

実務経験教員の経歴

ホテルの現場で9年間、携わった。

②

科目名	イベントプロデュースⅡ				
担当教員	村瀬 孝	実務授業の有無			○
対象学科	ホテル・ブライダル	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	135
授業概要、目的、授業の進め方	学生運営によるイタリア軒への宿泊プランを提案し聞いてもらう機会を設け、学んだことを表現、実践する考え方を学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	イタリア軒へ宿泊プラン案を提案する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1.2	授業の目的、スケジュール、昨年のイタリア軒の発表について学ぶ				
3.4	イタリア軒の宿泊プランについて調べる。コース内で発表、共有。				
5.6	新潟他ホテルがどんな宿泊プランを販売しているか調べ、コース内で共有。				
7~15	全国ホテルの宿泊プランを調べ、コース内で共有。				
16~18	イタリア軒の現状調査・顧客層・販売促進につながるヒントを探る。				
19~20	イタリア軒への質問内容をリスト化				
21~23	イタリア軒へのヒヤリング				
24~28	企画書の初期提案・提案内容をまとめる。				
29~34	各グループの方向性をまとめる。企画書の作成開始。				
35~40	1回目・企画書作成				
41~46	2回目・企画書チェック、修正				
47~54	3回目・企画書チェック、修正(台本パワポ作成)				
55~60	企画書完成				
61~65	1回目・台本パワポ作成				
66~70	2回目・台本パワポ作成				
71~75	3回目・台本パワポチェック、修正				
76~80	台本完成				
81~85	リハーサル、修正(動きを覚える)				
86~90	リハーサル、修正(動きを覚える)				
91~95	リハーサル、修正(問題点を見つける)				
96~100	リハーサル、修正(問題点を見つける)				
101~105	全体通しリハーサル				

106～110	全体通しリハーサル	
111～115	全体通しリハーサル	
116～120	全体通しリハーサル	
121～125	ホテルでの最終リハーサル	
126～129	本番	
130～135	片付け、振り返り	
<b>評価方法・成績評価基準</b>		<b>履修上の注意</b>
<p>イベント実施30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30%</p> <p>成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。</p>		<p>学生主導とイタリア軒のコラボで行う宿泊プランの提案というユニークさでイタリア軒とWishの知名度を上げ、販売促進につなげる。</p>
<b>実務経験教員の経歴</b>		シティホテルの現場に9年間、携わった。